

職員研修だより

中央中等教育学校
授業研究・FEWC推進部
SUS研修② 第6号
令和元年11月22日(金)

—授業の真価は子供の姿に全て顕れる— 課題への「没頭」(engagement)を見る

1年1組「英語C」D. エメット先生

- 生徒にいかに課題意識をもたせて、解決のためのツールを用意しておくかの奥深さを感じた。
- タブレットで自分の発音をすぐに確認できるので、生徒は課題がすぐわかり、集中して取り組んでいた。一人ひとりの生徒が、「発音したつもり」ではなく、しっかり定着をはかろうとしていて、とても参考になった。
- タブレットを使い、生徒たちは積極的に取り組んでいた。“やるべきことがわからない”という生徒はいなかった。歌、ビンゴゲーム等、“学ぶ”ということに対して、肩ひじを張らずに楽しみながら入っていきける。本来、学ぶことは楽しいことである、ということに気づかされた。
- 生徒の意見を引き出すにも、テンポ感が大事だと思った。個人の発言をシェアするのと聞いている生徒がそれに対してどう参加するのか工夫されていた。
- 授業最初の「バナナソース」は全体の活動だったので、自ら取り組めていない生徒もいたが、タブレットを使用した学習では、自分の成果が可視化されるので、主体的に学習に取り組む姿が見られた。
- 日本語を使わずに活動することで、ペアでわからなかったものも英語で話し合い、苦労しながら解決に向かうことができていた。
- クラスで英語の発音をしっかりしようとする雰囲気が出ており、恥ずかしがらずに発音練習をしていた。
- 生徒が考えるためには基礎的な知識が身につけていることが大前提であることを再認識した。また、生徒にどのように考えるためのツールを持たせられるか、そしてそのツールを使って解決できる課題を設定することが教員の役割であると改めて思った。
- ビンゴで使用した地名、天気等の単語から、発音確認→ペアワークと繰り返し、それらの単語を使える場面があり、発音や質問文の定着が一貫して目指されていた。
- 文字と音を一致させる個人差が大きく、大変そうな生徒もいた。ルールがあると、生徒同士で頑張っペアワークをすることができていた。



4年2組「国語総合」館石浩信先生

- 思考する、聴き合う、教え合う、読む等の異なる活動がバランス良く自然なタイミングで生じているのが印象的だった。「エンゲージメント状態」を授業の中で増やせるかが大切なことであると学んだ。
- Aさんは、他教科の授業でも自分から積極的に話をするタイプではなく、本授業でも目を伏せがちで自分から発言しようとはしていなかったが、人の話はきちんと聞き、決して意欲がないわけではなかった。
- 全体的にはグループ内で意見を交換し、相手を否定することなく共有できていた。意見がぶつかったり、否定することがないので、生徒もにこやかに話し合いをしていた。
- 「答えは考えなくてもよい」ことが前提なので、より自由に自分の疑問点を持ち出せたようだった。
- 生徒一人ひとりが学ぶ雰囲気があった。目立っていない生徒も、自分の意見をしっかりと伝えていた。教育相談的、学力面でも心配なBくんも、明るい表情で意見を伝えていた。
- 主題に迫る問いになっているか、どのように発問したり、どのような声かけをしたりしたらよいか。話し合う題材を何にするか、授業のどの場面で行うかが大切であることを実感した。生徒が試行錯誤しながら考えを深めることができる投げかけを自分自身の授業の中でも試行錯誤していきたいと思った。
- 場の構成として、対話せざるを得ないしかけ(3人グループとメンバーの流動化)、テキストと対話せざるを得ない質問づくりがなされていた。50分ほぼ全て「教材について語らせる」授業だった。教員がついつい介入しまとめたくなくなるのに、教える時間より生徒が活動する時間が長く確保されていた。
- Cさんは、付箋に疑問点を書きながら読解することが習慣化している。部活動でやや口数少ないDさんが、会話に参加している。発言に対し、周りの仲間が「そうだよね」と承認してくれた。互いに落ち着いて他者に説明できるように成長している様子が見て取れた。
- 生徒の実態の背景を考えたり、どのように教師が関わっていけばよいかを考えたりして、教師同士が共有するとよいと思う。
- 話し合いの中で、お互いに出てくる疑問や気づきをその場で深化させるために、どのような働きかけ、どのようなアイデアを与えるかが重要であると感じた。



濱田先生講演資料より

授業の構想



「しかけ」に基づき多様に 振る舞って授業を展開

- 情報提示
- 内容説明
- 指示
- フィードバック
- 状況のモニタリング
- 「場」の調整



授業の「省察」

授業の真価は 子供の姿 に全て顕れる...

課題への 「没頭」(engagement) を見る

	エンゲージメント状態	非エンゲージメント状態
行動	<ul style="list-style-type: none"> 熱心に取り組む 持続的に取り組む 専念する 試行錯誤する 	<ul style="list-style-type: none"> あきらめる 不参加 気乗りしない 落ち着きがない
感情	<ul style="list-style-type: none"> 興味を示している 楽しんでいる 生き生きしている 充実感 	<ul style="list-style-type: none"> 退屈 恥じている 不満げ 不安を感じている
認知	<ul style="list-style-type: none"> 目的を自覚 注意深い 丁寧・几帳面 方略を吟味 チャレンジする 	<ul style="list-style-type: none"> 無目的 回避的 頭が働いていない 絶望している

鹿毛(2017)を一部改変

